

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和6年度第1回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	令和6年5月29日(水)		
開催場所	小金井市野川クリーンセンター		
出席者	委員	<出席者：11名> 渡辺会長・岡山委員・溝入委員・岸野委員・土屋委員・林委員・黒須委員・齋藤委員・清家委員・石原委員・續木委員  <欠席者：2名> 大関委員・堀越委員	
	事務局	今井ごみ対策課長・鈴木ごみ処理施設担当課長・立崎減量推進係長・竹内清掃係長・高橋施設係長・高花	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 2 報 告 3 議 題 小金井市一般廃棄物処理基本計画等について 4 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

渡辺会長	これより令和6年度第1回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。
立崎減量推進係長	(配付資料確認) (会議録確認)
今井ごみ対策課長	(「報告事項」について説明)
鈴木ごみ処理施設担当課長	(「報告事項」について説明)
林委員	食品リサイクル堆肥の無償配布は継続するのか。継続するのであれば、月にもらえる回数に制限はあるのか。
今井ごみ対策課長	今年度については月に2回無償で配布する。現行では、1回20kgを月2回配布しているので、年間で480kg持ち帰っている方もいらっしゃる。1人1回10kgを上限とすれば、より多くの方に行き渡ると考えている。
林委員	学校でも食品リサイクル堆肥を使用することになっているのか。
今井ごみ対策課長	ごみ対策課に依頼がある一部の学校に対しては渡している。
林委員	学校全体に配ると、数量の確保は難しくなるのか。
今井ごみ対策課長	その場合、どのくらいの量が必要になるのかの把握はできていない。
渡辺会長	最近の肥料価格高騰などを受けて、生ごみリサイクル堆肥にもきちんと値段が付くようになり、需要が出てきたことで、値上がりしており、それを受けてのことだろうと思う。 新たなリサイクルルートについて確認したい。 衣装ケースのほうは、使えそうなものはジモティーに掲載し、残ったものをこのルートに出すということではいか。

	<p>また、ゴルフクラブのほうは、粗大ごみとして回収するときには1本あたり処理手数料を市民が払い、それを有価物として売却することになるが、そこは問題ないか。</p>
<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>衣装ケースのリサイクルルートについては、会長の言われたとおりとなる。</p> <p>ゴルフクラブのリサイクルルートについては、あくまでもリユースできるものであることが前提であり、すべてが売却できるわけではない。</p>
<p>林委員</p>	<p>まだ使えると思えば、リユースショップに持って行くと思うので、要らないからごみで出しているのだろう。</p> <p>リユースをリユースショップに持っていったり、逆にリユースショップから購入したりすることはよくあるが、それと、現在進めようとしているリユースルートとのすみ分けはどうするのか。</p>
<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>粗大ごみ受付センターの受託者側と協議を行い、今年の5月からは、電話での粗大ごみ申請受付の際に、まず買取り査定を行っている「おいくら」を紹介するようにしている。それでもごみとして排出するとなった場合には、リユースに回す可能性があることを伝え、問題はないかを確認しており、拒否された場合は、リユースに回さないようにしている。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>リユースできない状態の衣装ケースは、今まで燃料のようになっていたが、今後はマテリアルリサイクルされるということになるのだと思う。</p>
<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>回収実験の際は、軟質・硬質問わず、さらには、リユースショップで売られていないような昔ながらのプラスチック製の箱のようなものも、売れることを確認している。それらがマテリアルリサイクルとして循環していくということが良い点であると考えている。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>中間処理施設について、今年度中に完成するのであれば、次期の審議会委員で見学ができれば良いと思う。</p>

鈴木ごみ処理施設担当課長	<p>それから、委託契約の更新ということだが、業者が変わるといことになるのか。</p> <p>野川クリーンセンターと新しい資源物処理施設の2施設を同時に運営していただくので、現在、野川クリーンセンターを運営していただいている業者になるかどうかは未定である。</p> <p>施設見学についてはタイミングによると思う。年末頃には、ある程度形になってきているが、2月に入ると試運転が始まって、慌ただしくなってくる。調整させていただいたうえで、見学していただける適切なタイミングを計りたい。</p>
岡山副会長	<p>令和7年度から小中学校の給食調理くず等を株式会社イズミ環境に搬入できるようだが、現時点では、株式会社エンザで資源化している生ごみ乾燥物の量が少し減るため、無償配布の量が減るといことか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>現時点でご報告できるのは、生ごみ乾燥物は学校だけではなく戸別回収分もあるので、そういったところのルートもしっかり構築できるよう調整を進めているということと、小・中学校については、大型生ごみ乾燥処理機を外し、新たな処理施設に展開を移してもらいといところに注力して調整を進めているといことだけである。詳細については、決定し次第、改めてご報告させていただく。</p>
石原委員	<p>夏休み生ごみ投入は実施するのい。</p>
今井ごみ対策課長	<p>今年度は実施するが、現在、学校長寿命化の工事が始まり、補修工事が進んでいる学校もあるため、受け入れられない学校が出始めている。</p>
岡山副会長	<p>給食調理くず等まで資源化して、堆肥にして、市内農家に使っていて、給食食材になるとい一連は、とても良い循環の輪である。それを繋げていくために、もし「くるカメ給食」が実現したら、給食に食材を出している市内農家に優先的に使っていていただくことができたら良いと思う。</p>

渡辺会長	<p>全ての学校給食に、食品リサイクル堆肥を使用して生産された農産物を使おうとしたら、それくらいしないと足りないのではないか。</p>
土屋委員	<p>すべての市内農家が使用しているわけではないが、もし使用することになると、全く足りないと思う。</p>
續木委員	<p>実際に、学校と市内農家が連携して資源循環を図っているところでは、JAがかなり協力してくださっているようだが、小金井市では、そういった連携はまだ行っていないのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>近隣市では共同で循環させているところがあるということは認識している。</p>
土屋委員	<p>農協は、市内農家全体の中で、給食食材の斡旋をしてくれている。斡旋して受けた注文を農家に振り分けてもらっている。</p>
岡山副会長	<p>今、資機材費が高騰しており、肥料も非常に高騰している中で、堆肥が無料で貰えることは、すごく魅力的なのだろうと思う。しかし、量的なことなどもあって、例えばJAに食品リサイクル堆肥を販売してもらうことになった場合に、気になることが二つある。</p> <p>一つは、普通の堆肥より多少安価になると思うので、そういう安い堆肥をして販売してくれるのかということ。</p> <p>もう一つは、突然有料になった食品リサイクル堆肥を、市内農家が使用してくれるのかということである。</p>
土屋委員	<p>今まで使用していても問題ないので、できれば継続して使用したい。農協が対応してくれるかどうかは、市との協議になると思うのでわからないが、値段によっては購入するかもしれない。</p>
岡山副会長	<p>20kg入り食品リサイクル堆肥の同等品が、今年くらいから500円程度になったところも出てきている中で、無料配布というのは、市からすると非常に難しいことだと思う。</p>

<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>以前は、市内の生ごみ堆肥実験場で作製しており、今と同じような土に近い堆肥ではなく、ペレット状の化学肥料に近い形のものだったときもある。そういったときは、市場で販売することも含めて不確かな状況だったため、市民に無償配布を行っていたというのが始まりである。それが、今は群馬県にある工場で作製された、商品価値のある製品を購入している。</p> <p>食品リサイクルの技術も確立されてきており、市場優位性も高くなっている中においては、既製品を無償で提供するというのは成り立ちにくくなってきている。今後また、市全体の財政状況も考えながら、適切なところに支出をできるように見直しを図っていく必要はあると考えている。</p>
<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>(「小金井市一般廃棄物処理基本計画等」について説明)</p>
<p>立崎減量推進係長</p>	<p>(「小金井市一般廃棄物処理基本計画等」について説明)</p>
<p>石原委員</p>	<p>令和7年度の「債務負担行為」というのはどういうことか。</p>
<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>策定を支援していただくコンサルタント事業者への支払いについて、成果を年度別にした場合の金額となる。この2か年度分が委託料として支払う金額となる。</p>
<p>林委員</p>	<p>災害廃棄物処理計画の改定とあるが、以前、災害廃棄物処理計画を策定した際に、具体化した実施計画のようなものを策定するのではなかったか。</p>
<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>そちらについては、実際に初動対応マニュアルを作成している。今回の改定は、地域防災計画の被害想定と若干の齟齬を是正することと、昨年度、他課において小金井市国土強靱化地域計画と小金井市地域防災計画が策定されており、それらの計画との整合性を図ること、災害廃棄物の一時保管場所が整備されたことなどを踏まえて見直しをする必要があるため、基本計画の見直しに合わせて実施することにした。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>地域防災計画は、一義的には災害が起こったときに、どこに避難して命を守るかという計画である。その計画の災害廃棄物</p>

	<p>というカテゴリーの中に、避難所や家庭から排出されるし尿のことは出てくる。しかし、多くの災害廃棄物というのは、片づけごみなのにも関わらず、地域防災計画には仮置場を含め全く入っていない。</p> <p>また、地域防災計画の中では、想定される地震の大きさによって、どのくらいの被害があるかを想定するが、災害廃棄物計画の中では、どれだけの災害廃棄物が出るか、すなわちどのくらいの家が壊れるか、被災するか、ということになるため、発生量の予測が変わってくる。それよりも、片づけごみを家の中から「どこに」「どのように」排出するかが非常に重要であるため、現行の災害廃棄物処理計画にはそれが記載してある。</p> <p>一つだけ補足をすると、ハザードマップの中で水害を受けるところはわかっているため、現行の災害廃棄物処理計画にはその地域の水害と緊急仮置場を想定している。そのため、水害で浸水してしまったときには、普段ごみを排出している場所に、できるだけ分別をして置いてくださいというように記載している。ただし、これが地震を想定した場合、市が想定している仮置場に置きに来てくださいということになり、仮置き場が足りているかどうかは分からない。</p>
渡辺会長	<p>基本計画において、組成分析を令和6年度の第4四半期の頃に行うということだが、食品ロスの排出を考える上でいうと、季節変動なども取り込んだほうが良いように思う。</p>
今井ごみ対策課長	<p>これは粗々の実施内容となる。実際は、業者選考を公募型プロポーザル方式で行うため、受託候補者のほうから提示されるスケジュール感や調査項目内容、こういったものをみながら選考していく形になるため、ここは確定事項ではなく、こういった行為を2年続けてやっていくというレベルで見ていただきたい。</p>
渡辺会長	<p>基本計画に関して大きなところでいうと、コロナ禍の影響を受けて、原単位を見直すといったところなどもあるのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>原単位の部分が主になると考えている。令和2年策定した際は、人口動態を含めて、小金井市の基本構想を引用しているが、</p>

	<p>実際の人口増のペースは予想より早くピークを迎えており、現在は少し横ばいで、微減傾向に移っていているところがある。また、市民1日1人当たりの排出量というのは純減しているが、浅川清流環境組合の稼働開始と、コロナ禍が明けたこと、まちづくりが進んだことなどで、事業系一般廃棄物は若干増加傾向にある。そういったこともあり、排出原単位をしっかりと見直しをして、ポイントを絞った施策を展開できるように見直したいと考えている。</p>
岸野委員	<p>ワークショップにはどんな目的があるのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>基礎知識を増やしていただけるようなものや、様々な意見を踏まえた上で方向性を固めるために意見集約をしていくようなワークショップを考えている。</p>
石原委員	<p>新聞に、人口10万人ぐらいの都市での1人当たりのごみの発生量について、一番少ないのが日野市で2番目が掛川市、3番目が小金井市であると掲載されていた。小金井市とはどう違うのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>小金井市では、平成19年以降、環境省の廃棄物処理実態調査の中で常に3位以内を堅持しており、そこは小金井市民の皆様の努力の賜物だと思っている。</p> <p>家庭系のごみ減量数値で見れば、小金井市は1位となるが、事業所を含めて計上すると、どうしても順位が下がってしまう。事業系の一般廃棄物をどこまで削減できるかというところを検討していきたいと考えている。</p> <p>ごみの安定処理ができないと、経済活動に支障が出て外食産業が広がりにくいものだが、浅川清流環境組合ができて廃棄物処理ルートがしっかりと確立されたことで、商業も活性化してきた事業所が増え、その結果、事業系一般廃棄物も増えてきたのではないかと考えている。今回の基本計画策定にあたり、排出原単位を確認したうえで、見直していきたいと考えている。</p>
渡辺会長	<p>基本計画というと、家庭系のごみをどうやって減らすかということが中心になってくるが、事業系のほうも考えなければい</p>

	<p>けない。</p> <p>他にご意見が無いようなので、審議はここまでとしたい。</p> <p>これをもって、今任期の審議を終了する。</p>
--	--